

「赤船祭」日比中の第2学年として私たちにできること

学級活動(1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上

本題材で育成する資質・能力

(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和2年9月29日(火) 14:00~14:50
- 2 学年 第2学年1組 (男子16名 女子16名 合計32名)
- 3 場所 新館2F 2年1組教室
- 4 題材について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は第1学年次より、「話し合い活動」を重視した学級活動に取り組んできた。じゃんけんや多数決によって決めるのではなく、合意形成能力や意思決定力を重視した学級活動に取り組んでいる。次の表は、本学級が7月に実施した生徒アンケートの結果である。

| 項目 | 肯定(はい) | 否定(いいえ) |
|--|--------|---------|
| 授業で自分の考えや意見を発表しやすい雰囲気がある。 | 93% | 7% |
| 授業では、事実や友だちの意見を正確に理解できている。 | 93% | 7% |
| 話し合い活動で合意したこと、学級目標や個人目標を意識して生活をおくっている。 | 90% | 10% |
| 話し合い活動で合意したこと、学級目標や個人目標を達成することができた。 | 83% | 17% |

この結果から、本学級の生徒は個人の考えを他者に伝えやすい雰囲気の中で、他者の考えを受け取り、理解することには自信をつけていると考える。また、自分たちで話し合って決めたことだから意識しようという態度が見られる。しかし、授業などで話し合いの様子を見てみると、他者と自分の意見の共通する部分を見付けられなかったり、他者の意見を取り入れて自分の考えを修正したりすることが難しいことがある。

(2) 題材設定の理由

本題材は、学習指導要領特別活動〔学級活動〕内容(1)ウ「学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

今年度は6月に予定していた体育大会が中止となり、11月に予定していた文化祭も開催が難しい状況である。そのような中、生徒会と教職員がアイデアを出し、体育大会と文化祭それぞれの要素が盛り込まれた「赤船祭」を開催することになった。生徒にとって待望の学校行事である。

「赤船祭」という学校行事に向かって学級や学校の一員として課題を話し合い、解決方法を探っていくことで合意形成のための話し合い活動を取り入れることができる。その中で、学校を中心となって学校行事を盛り上げる第3学年の生徒に自分たちの理想とする先輩像を見いだしながら憧れを抱かせていく。また、自分たちも先輩として第1学年の生徒にどう接していけばよいのか考え、行動したり、学校の一員として伝統を受け継ぎ発展させたりしていこうとする前向きな姿勢を育みたい。

さらに、自己の役割と責任を自覚し、自分たちで決めた目標を意識して学校行事に取り組み、学級で課題解決のための話し合い活動を通して、自らの行動を振り返り、新たな課題を発見して自分なりの行動目標を決める意思決定の場を取り入れることができる。

指導観としては、議題が生徒発信になるよう、学級委員や議長団と事前に打ち合わせを行っていく。いくつかの団に分かれ、第3学年の生徒が縦割りで運営することを意識させ、「日比中生として、第2学年として、自分たちは何が出来るのか」という思いをもたせる。本時の話し合い活動の中では自分たちの目指す姿をイメージさせる。その後、学校行事に取り組む中で、目指す姿と実際の姿とのギャップを発見し、それを共有化する話し合い活動を経て、一人一人の行動目標を決める意思決定の時間を設ける。

話し合い活動を行う際には、昨年度より取り組んできた学級活動(1)合意形成能力のプロセスを活用する。「メロンカード(出し合う、わかり合う、比べ合う、まとめ合う)」と名付けられたプロセスカードを黒板に提示し、議長から「これから『出し合い』ます」などアナウンスをすることで、合意形成に向かうプロセスを意識させていく。また、話し合いの「ヒントカード」を用いて、互いの意見を尊重しながら話し合う力を身に付けさせる。

事後の指導と生徒の活動は次の通りである。

| 期日 | 活動の場 | 題材 | 活動の内容 |
|---------------|--------------|---|--|
| | 赤船祭練習 | | |
| 10月27日 (火) | 学級活動 (2)ア | 豊かな人間関係づくりと自己の成長 「赤船祭に向けた個人の行動目標を考えよう」 | 赤船祭に向けて合意形成したクラスの行動目標をもとに、赤船祭をよい良いものにし、成功させるための目標や取組方法を一人一人が自己決定する。 |
| 11月6日(金) | 赤船祭 | | |
| 11月13日 (金) | 学級活動 (2)ア | 自他の理解と尊重 「赤船祭を振り返ろう」 | 赤船祭で得たことを活かし、リーダー学年として、互いの良さを認め合いながら、学校生活の向上に向けて目標や取組方法を一人一人が自己決定する。 |

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。さらに、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後、全体へ発表させるスタイルをとっている。

| 資質・能力 | 知識・スキル | | | 意欲・態度 |
|-------|---|--|---|--|
| | 表現力・コミュニケーション能力 | | | 主体性 |
| レベル1 | (話す speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。 | (聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。 | (やりとり) ○話を聞いて質問することができる。 | ○課題に対して、自分の考えをもち、取り組もうとしている。 |
| レベル2 | (話す tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。 | (聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながら聴くことができる。 | (やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために質問することができる。 | ○課題に対して、自分の考えをもち、自ら進んで取り組もうとしている。 |
| レベル3 | (話す talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて、分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。 | (訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながら訊き、話された内容と自分の意見をふまえて、共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。 | (やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。 | ○自ら課題を見つけ、自分の考えをもち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。 |
| レベル4 | 自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。 | | | |

6 学級活動 (1)「学級や学校の生活づくり」の評価規準

| 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団や社会の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての知識・理解 |
|--|---|--|
| 学級や学校生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に集団活動に取り組もうとしている。 | 学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、集団におけるよりよい生活づくりなどについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。 | 充実した集団生活を築くことの意識や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の仕方などについて理解している。 |

7 本時の指導と生徒の活動

(1) 本時の目標

議題：日比中の第2学年として、赤船祭で何ができるか？何をしなければならないのか？

提案理由：第2学年になって初めての学校行事で私たちはどう行動するのか？赤船祭を引っ張ってくれる第3学年、初めて日比中で学校行事をする第1学年、これまでの日比中の伝統をつくってくれた卒業生などいろいろな人の気持ちを考え、クラスの行動目標を考えたいと思います。

◇本時のねらい

学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、次のリーダーとしての先輩像について考え、話し合いを通して、合意形成能力を育てる。

(思考・判断・実践)

(2) 準備物

ミニホワイトボード、ホワイトボードマーカー (赤・黒)、TVモニター、PC、タイマーメロンカード、ヒントカード

(3) 学習の流れ

| | 学習活動 | 指導上の留意事項 (予想される反応) | 評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】 |
|-------|--|---|--|
| 活動の開始 | 1 始めの言葉 (副議長) 2 議題の確認 (学級委員) 3 提案理由の説明 (学級委員) | | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈提案理由〉</p> <p>第2学年になって初めての学校行事で私たちはどう行動するのか？赤船祭を引っ張ってくれる第3学年、初めて日比中で学校行事をする第1学年、これまでの日比中の伝統をつくってくれた卒業生などいろいろな人の気持ちを考え、クラスの行動目標を考えたいと思います。</p> </div> | | |
| 活動の展開 | 4 先生の話 | | |
| | 5 ゴールイメージの共有 ・個人の考えを整理する。 ・クラスでイメージを共有する。 6 話し合い活動 (議長団で進める。議長団は話し合いに参加せず、全体の様子を見る。) <u>(1) 出し合う</u> ・個人の考えを整理する。 ・4人班で意見を出し合い、ポイントをホワイトボードに記入する。 <u>(2) わかり合う</u> ・ホワイトボードに書いたことを他の班に説明する。 <u>(3) 比べ合う</u> ・自分たちの班と同じ意見を見つかったり、異なる意見や疑問に思ったことに対して質問したり、ホワイ | ・どんな赤船祭になれば成功だと思うのか具体的な言葉でイメージさせる。 (みんなが楽しめる、達成感がある、本気で取り組む) (先輩を支える、後輩の手本になる、一生懸命がんばる) ・どのようにすれば、そのような姿になれるのか具体的な行動をイメージさせる。 (大きな声を出して盛り上げる、言われる前に自分から行動する) ・ヒントカードを参考に、自分の意見と他の生徒の意見を比べて、まとめ合うよう促す。 (AとBの意見を組み合わせるとCという意見はありますか、AとBのここは共通していると思います) | [思考・判断・実践] ★表現力 ★コミュニケーション能力 ★主体性 ・学級や学校の一員としての自己の役割と責任を自覚している。 ・自分の意見を持ちながら、他の生徒の意見を尊重している。 ・次のリーダーとしての先輩像について考え、話し合いを通して合意形成している。 【発言・振り返り】 |

| | | | |
|--------|--|---|--|
| | <p>トボードに書いてあることに対して、理解を深める。</p> <p><u>(4) まとめ合う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題と提案理由をもう一度ふりかえり、行動目標を学級全体でまとめる。 | | |
| 活動のまとめ | <p>7 決定事項の確認（議長）</p> <p>8 自己評価・感想の記入</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉（議長）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を認める発言を褒める。 ・話し合いを振り返り、議長団の活躍を褒める。 ・話し合いをもとに、これから実際に行動へうつすよう意欲を高める声かけをする。 | |